

# OFA GK育成プロジェクト 活動レポート

2020年9月  
一般社団法人大阪府サッカー協会



## OFA GKアカデミー

文責：時久 省吾（OFA GKアカデミーGKコーチ）

9月に入って公式戦も終盤に入り、選手権予選も始まりました。選手自身のコンディションも良くなってきて試合での関わり方も良くなってきました。トレーニングではFPと共にポジションのトレーニングを多めに行いビルドアップで流れを止めない、またはチャンスメイクしていくといった部分を行いました。ゲーム形式ではクロスからの対応で判断を躊躇することがあったので決断する事をもっと意識していかなければなりません。同時にブレイクアウェイでの1対1の局面において最後の球際で迫りに欠けてしまうのでブロック、フロントダイブをもう一度修正していきたいと思います。選手権予選ではトーナメント方式なので緊張感ある中で思い切った判断、決断ができるように準備をしていきたいと思ひます。



## OFA GKスクール

文責：櫛引 実（JFAアカデミー堺GKコーチ）

今月は7日（月）、28日（月）にU-12、14日（月）にU-15をそれぞれ行いました。U-12のテーマは7日がローリングダウン、28日がダイビングでした。U-15は28日にフロントダイブとブロックで1vs1をテーマにしました。U-12のローリングダウンでは長座でボールを持って、立膝、立位へと安全に倒れるところから段階的に進めました。その後、手投げのボール、蹴ったボール、シュートへの対応と進めました。手投げのボールの時にはできるだけ早く体を倒すであったり、倒れる側の足にしっかり体重を乗せるであったり、ボールに対して最短で行くことを求めました。また、攻撃につながる立ち方まで指導しました。ダイビングでも同様に安全に倒れるところから再確認して、段階的に進めました。ここでは更に一步の踏切足の重要性を指導しました。大きすぎる一步では体重が乗らず蹴れないことを指摘し、かつボールに最短で向かう事の重要性も伝えました。また、手を振りすぎるスクール生も目立ちました。まだまだ、しっかりと地面を蹴れないのが現状でしたが、ゲームの中ではキャッチこそできませんでしたが、ダイビングでシュートを防ぐ場面も何度かありました。U-15のテーマはフロントダイブとブロックで、テクニックに関してはどちらも概ねできていました。ただ、実戦に近づき判断要素が増えると、迷ったりする場面が多くありました。その中で、フロントダイブでボールを奪う意識が薄れ、無難にブロックすることが増えてしまいました。エラーをしても良いのもっとフロントダイブをトライせざるべきだったと我々も反省しています。その日のゲームでもブロックでの良いプレーは多くありましたが、殆どフロントダイブは出ませんでした。チームでは無いスクールというメリットを我々も忘れないように選手同様にトライしたいと思います。



協 賛

ユニバーサル株式会社、ユアサM&B株式会社

お問い合わせ先

一般社団法人大阪府サッカー協会

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-7-25 イトーダイ鞠本町ビル6階

TEL：06-6441-5881（平日10:00～18:00） FAX：06-6441-5882 <http://osaka-fa.or.jp>